

# 現状に安住せず 一体感持ち新たな挑戦

一足元の景況感は。

「24年8月期は計画を達成、原価率も改善し営業利益率は10%を確保、好調な決算だった。顧客の中で半導体分野の設備投資の旺盛さが背景にある。



富士電波工業  
横島 俊夫社長

受注残も抱えるが、これに安住せず意識を変え一体感を持つことが必要。25年8月期も順調に推移するが、その先を見据え仕事のバリエーションを増やしたい」

—情報収集や社外連携には積極的です。

「展示会出展は情報収集のほか、新規顧客になり得る企業との接点作りのきっかけにもなる。社外からの受託実験も増えている。大学や研究機関との連携強化では素材作りで社内プロジェクトを立ち上げた。研究機関と渡り合える人材育成が目的で研究機関の動向を探り、新技術開発

などに活用する」

—人材採用にも工夫を凝らしています。

「ベトナム人の大学卒社員2人を採用し5年になる。当初は苦労もあったが戦力となり喜んでいる。ただ日本人向けの求人は依然、かなり厳しい。一方でレスポンススピードアップキャンペーンを展開する。現在の納期に顧客も納得しているが満足はしていない。少しでも短縮できるアイデアを求め、目立った成果には年間休日を増やす。年間休日の多さが求人での重要な要素となるからでもある」

—25年はどんな1年になりますか。

「『エネルギーの有効活用、新素材の発展に超高温加熱技術で貢献』を企業ビジョンに掲げる。新素材の発展は日本の生命線で、今後の技術開発の方向性の構想を練り、予算を組み具体化できるレベルを目指す。新たな挑戦は技術力を向上させ、企業の成長・発展を促すだけに、花開かせる年にしたい」

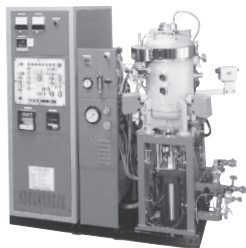


Một năm sau khi đến Nhật Bản, đại dịch Covid-19 bùng phát khắp thế giới, việc đi lại quốc tế bị hạn chế khiến các bạn không thể về quê thăm cha mẹ ở Việt Nam.

「高温炉の設計・製造で活躍する高度人材ベトナム人社員」をYouTubeチャンネルで配信、上記二次元コードからは是非ご視聴ください

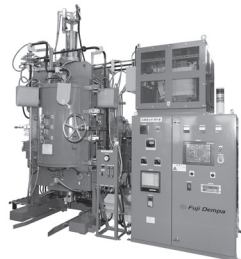
## 富士電波工業の超高温加熱技術は サステイナブルな地球の未来へ向けて 『ものづくりの環』をつなぎます

新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて76年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。



多目的高温炉「ハイマルチ」

ファインセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・常圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。



拡散接合用ホットプレス炉

金属からセラミックスまで幅広く対応し、広範囲で精密な荷重制御が可能。  
2022年12月、滋賀工場に受託実験設備が完成。



大阪の元祖「ものづくり」企業  
2018年度  
審査委員特別賞受賞!



2024  
健康経営優良法人  
Health and productivity  
ブライト500  
3年連続「アライツ500」認定!  
(中小規模法人部門)



富士電波工業株式会社  
本社：大阪市淀川区新高2-4-36  
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場

<https://www.fujidempa.co.jp>



<https://www.fujidempa.co.jp>  
<https://www.fujidempa.co.jp>  
#o-dempajp#n-japan